

東芝ハイビジョンテレビ〈レグザ〉の録画に対応したカートリッジハードディスク
 ～ポータブルハードディスクに VHS テープ感覚でハイビジョン番組を録りためる～

株式会社アイ・オー・データ機器(以下、アイ・オー・データ)は、東芝ハイビジョンテレビ〈レグザ〉の録画用ハードディスクとして、カートリッジタイプの「REC-iN(レック・イン)シリーズ」を3月下旬より市場に投入します。

「REC-iN」は、2.5 インチサイズハードディスクを採用した当社独自のカートリッジ規格です。パソコン接続用アダプターと500GB のハードディスクがセットになった「RHDM-U500」と、500GB のハードディスク「RHDM-500」の2ラインアップを3月下旬に市場に投入いたします。

【「RHDM-U500」外観】**【「RHDM-500」外観】****REC-iN**

製品型番	RHDM-U500	RHDM-500
製品概要	メディア+アダプター	メディア
容量	500GB	500GB
発売時期	3月下旬	3月下旬
標準価格	15,400 円(税別)	12,500 円(税別)

■「REC-iN」について

「REC-iN」は、コンパクトなボディに大容量コンテンツが保存できる、利便性を追求したカートリッジハードディスクです。専用のアダプターを用いることで、パソコンとUSB で接続しポータブルハードディスクとして使用するだけでなく、東芝ハイビジョンテレビ〈レグザ〉の録画用ハードディスクとしてもご利用いただけます。



パソコンに接続してポータブルハードディスク

「RHDM-U500」は USB バスパワーで駆動可能。コンパクトなボディにケーブル1本で〈レグザ〉と接続できるので場所をとりません。「REC-iN」を複数台用意すれば、VHS テープ感覚で番組をジャンル毎に録り分けることが可能です*1。



VHS テープ感覚で、REC-iN に録画。場所をとらずに容量追加

<REC-iN と iVDR の互換性について>

2.5 インチハードディスク採用の「REC-iN」は、アイ・オー・データにて形状を策定したカセットハードディスクですが、一般的な iVDR スロットに接続可能な互換形状としております。「REC-iN」については、他社の iVDR 対応機器*2でもお使いいただけるよう、現在 iVDR コンソーシアムに対し規格提案を行っております。

■アイ・オー・データのデジタル録画機器への取り組み

アイ・オー・データは、2002年に発売したハードディスクレコーダー「Rec-Onシリーズ」にて、いち早くハードディスク交換ソリューションを提案し、iLink対応AVハードディスク「Rec-POTシリーズ」で、家電周辺機器ビジネスへの展開を模索してまいりました。

現在、著作権保護技術「DTCP-IP」採用の「LAN DISK AVシリーズ」や、著作権保護技術「SAFIA」採用のiVDR-Sメディア「IVSシリーズ」を積極的に展開し、新たに録画ユーザーをターゲットにしたハードディスク「REC-iN」を展開することで、AV機器ユーザーの多様な録画ニーズに応えてまいります。



「Rec-Onシリーズ」

(2002年)



「Rec-POTシリーズ」

(2002年)



「LAN DISK AVシリーズ」

(2008年)



iVDR-Sメディア
「IVSシリーズ」

(2009年)



RHDMメディア
「REC-iNシリーズ」

(2010年)

■各製品の報道用写真および製品仕様の詳細については、当社ホームページをご確認ください

本リリースに記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※1:録画した(レグザ)本体以外の機器では再生しません。

※2:「REC-iN」は、著作権保護規格「SAFIA」には対応していないため、日立ハイビジョンテレビ Wooo などでのデジタル録画には利用できません。

【本リリースに関するマスコミ問い合わせ窓口】

広報販推部 広報販推課
担当: 毘比野(ひびの)・渡辺
TEL: 03-6859-1054

【本製品に関するお客様の問い合わせ窓口】

インフォメーションデスク
TEL: 03-3254-1076 / 076-260-3643

【会社概要】

株式会社アイ・オー・データ機器
代表取締役社長: 細野 昭雄
本社: 石川県金沢市
資本金: 35億8,807万円
(JASDAQ 上場、証券コード: 6916)
ホームページ <http://www.iodata.jp/>